

# 特集

## 安心して暮らせるまちへ

——認知症とともに生きる

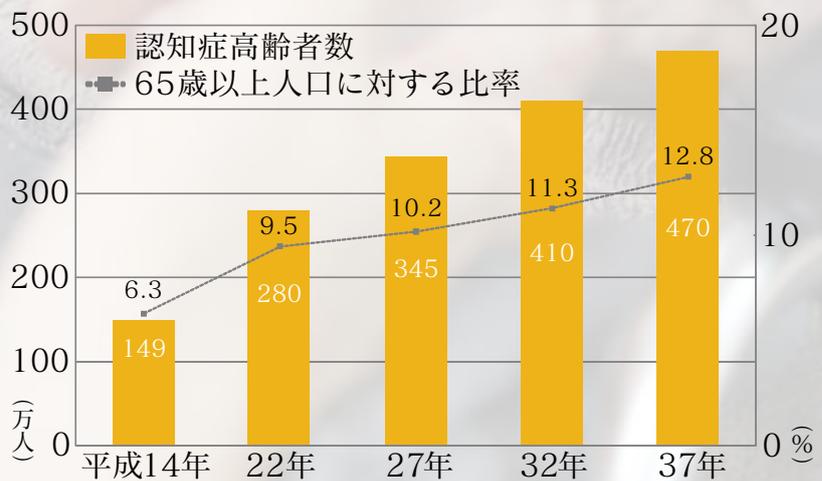
「認知症」は誰にでも起こりうる脳の病気です。わが国では、65歳以上の認知症高齢者の数は急激に増加しており、平成37年には470万人に達すると推定されています。(下図参照)

認知症対策は、超高齢化社会を迎えようとする日本、そして桂川町においても、重要課題となつていきます。

認知症対策には、家族や地域の人々など、認知症の人に対する周囲の理解と支援が不可欠です。

認知症を知り、向き合い、そしてともに生きるために、私たちにできることはなんでしょうか。

■ 認知症高齢者数の将来推計



(平成24年 厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」II以上の高齢者数について)より